

2008. 8. 26

CONTENTS



- 2 IUCN勧告が議題に
- 3 バルセロナに向けて 新曲「サン」
- 4 2008 京都全交参加報告
- 5 IUCN学習会 in 首都圏
- 6 地域でつながる 「チバリヨ～なかの」
- 7 沖縄の食と生活⑭ パパヤー

いよいよ10月のIUCNバルセロナ大会が差し迫ってきた。2010年国際ジュゴン保護年制定に向けて、SDCCもしっかりと取り組まなければならない。もし、ジュゴン保護年の制定を決定することができれば、それは、辺野古の海のジュゴンを守る運動に、大きな力を与えることになるからである。

そのIUCNの成功に向けて、私は急きよ沖縄の名護と那覇で「マブイぐみコンサート」をすることにした。その理由は、ジュゴンが古代日本の平和の神「竜宮神」であることを、沖縄県民に広く知らしめる必要があるからである。

サンフランシスコ連邦地裁で係争中の沖縄ジュゴン訴訟の流れは、米国国家歴史保存法に照らして、辺野古の新基地建設の当事者である米国政府と米国防省に対し、明確にジュゴン保護対策を講じるよう命じたものになっている。従って今後重要になるとと思われる争点が、ジュゴンの沖縄における歴史的文化的価値について、立証できるかどうかにかかってくると予測しなければならない。

マブイぐみコンサートに向けて SDCC 共同代表 海勢頭 豊

幸い私は沖縄平安座島に生まれ、島の神人になるまでの間、ずっと「竜宮神」について考え続けてきた人間である。なぜ、ジュゴンが古代日本人に竜宮神と崇められるようになったか？そのことを明らかにしたいと思う。それは日本の創世神話に深く関わっていた。神話はもちろん作り話である。作り話だからといって人を惑わす迷信として、最初から作られたわけではない。それはあくまでも平和のための神話であり、竜宮神＝ジュゴンであった。私はそのことを急いで伝えるべきだと考えて、マブイぐみコンサートを企画した。去る京都全交では多くの皆さんから賛同とカンパが寄せられて、感動している。また、岡部伊都子さんの追悼コンサートも大成功であった。そして次は、マブイぐみコンサートを成功させたい。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



去年の1月から、街頭やイベントで集めてきたイラストバナーが全部で20枚ほどになりました。バルセロナに持って行きます。

★かんたんスペイン語講座★

Delicioso
(デリシオソ)
おいしい

Una cerveza, por favor
(ウナ セルベサ ポル
ファボオル)
ビールを1杯ください



 SDCC
Save the Dugong Campaign Center

IUCN勧告案が議題に

「2010年国際ジュゴン年と沖縄ジュゴンの保護」

IUCN決議作業部会は8月6日、私たちが提案した勧告案「2010年国際ジュゴン年と沖縄ジュゴンの保護」を第4回世界自然保護会議に提案することを決めました。「CGR4 MOT027」が私たちの勧告案の番号です。

http://cmsdata.iucn.org/downloads/motions_english_collated.pdf に、世界自然保護会議に提案される勧告案、決議案がすべて掲載されています（40ページが私たちの勧告案です）。

勧告案の1項は、2010年を国際ジュゴン年に。2項は、ジュゴンが生息するすべての国は「移動性野生動物種の保全に関する条約」（ボン条約）の「ジュゴンの保護と管理のための覚え書き」に参加すること。3項は、沖縄ジュゴンの生息地への米国海兵隊施設の建設に関わる環境アセスメントをゼロ・オプションを含めて、日米共同で実施することなどです。

世界自然保護会議に提案される決議は125件（申し込みは156件）。世界自然保護会議（10月5日～14日）の後半に開かれる大会で採択されます。前半の自然フォーラムは参加者は8000人を予定。参加費は目をむくほど高いです（200ユーロ＝3万3千円）。ブースで「基地ではなくジュゴン保護区を」の活動紹介（写真展示やジュゴングッズなど）や、ジュゴン保護のネットワークづくりのミーティング。ボン条約のジュゴン保護協定に日本政府の参加を求める署名活動とチラシ（ニュースに同封）の配布などを予定しています。SDCC参加団は15名。

勧告案は、決議作業委員会から派遣される司会者が運営するコンタクト・ミーティングに、関係者や関心ある人が集まって議論します。2004年バンコク会議では、米商務省担当、日本の外務省、環境省の課長、NGO、研究者などが一致点を見いだす議論を積み重ねました。最終的に、決議作業委員会の判断で採決となり、勧告案支持が多数になり採択されました。

バヌアツからのお便り

ジュゴンと一緒におよげます

バヌアツはオーストラリア・ケアンズの東、約1500kmに浮かぶ島国です。そのバヌアツで働く日本人の土山さんから、メールをいただきました。

「バヌアツにもジュゴンがいます。いっしょにおよぐこともできるんですよ。」

メールをいただいてから、websiteで「バヌアツジュゴン」で検索すると、バヌアツのエピ島ラマンベイでおよぐジュゴンの親子の動画に出会いました。シュノーケリングで出会えたとのこと。いいなあ・・・

土山さんはバヌアツでのジュゴン保護活動の現状についても現地で問い合わせてみてくれるとのこと。

ジュゴンは美しい海の証。ジュゴンを守るアジア太平洋のネットワークが広がっていけばいいと思います。

松島洋介



写真 土山 裕誉

バルセロナに向けて 新曲「サン」発表



海勢頭豊代表は、2000年のアンマン（ヨルダン）会議のときに「ザンの海」、2004年バンコク（タイ）会議では「ジュゴンの歌」を発表しました。今回は「サン」。ぜひ、みんなで歌いましょう。

ジュゴンは古代日本ではサメと呼ばれていた。サメが訛って沖縄ではサン、またはザンになっている。今度の新曲は、イメージをより古代に近づけるために、タイトルを「サン」にした。マブイぐみコンサートでは、よりスペイン風にバイオリンと三板（さんば）をアレンジして盛り上げるので、歌詞を覚えていて欲しい。（海勢頭 豊）

「サン」

詞・曲 海勢頭 豊

1. アジアの東 沖縄の 竜宮の海のサンゴ礁

燃えて 燃えて輝く太陽 生きる力 我に与えよ
サリーサリー

ヒミコの好きな 勾玉を
胸に秘めて生きる神女
沖縄の神女



2. 日本の歴史のその陰で 遙かな古代の意志を継ぎ 強く守り通した心 平和 平和の島 沖縄の祈り サリーサリー

ヒミコの好きな勾玉を
胸に秘めて歌う神女
沖縄の神女



* サンよサンよ 世界の海を 清めて守りたもれ
世界の空を 清めて守りたもれ
世界の生命 清めて守りたもれ
人の心を 清めて守りたもれ

* 繰り返し

基地建設と大浦湾

アオサンゴが育つ豊かな海を守れ



米軍普天間飛行場の代替施設建設予定地である沖縄県名護市辺野古。今回アオサンゴの群落が発見された大浦湾は、その辺野古の隣に位置していて、作業ヤード等の建設予定地になっています。

7月18日、WWF ジャパン、日本自然保護協会、沖縄リーフチェック研究会などは大浦湾のアオサンゴの調査結果（以下合同調査レポート）を発表しました。アオサンゴの群落は、名護市日間漁港の南東約二キロの沖合（通称・チリビシ）で発見され、全長50メートル、幅30メートル、水深2～14メートルの大きな塊です。石垣島白保のアオサンゴとは形状が異なり、棒状のサンゴで水面に向かってそびえ立っているのが特徴です。

「辺野古・大浦湾は、サンゴ礁と大きな湾という異なるタイプの環境が隣接する、沖縄県内でも特異な海域であるため、豊かな生物多様性を保ち、保護すべき重点地域（ホット・スポット）であるといえる。また、大浦川が名護市中央部の多野岳山系の亜熱帯性常緑広葉樹林から流れ出ており、森、川、海が一体となっていることから、水系全体の要素がほぼ分断されずに連続しているという点でも、環境保全上重要な地域である」「政府および沖縄県は、辺野古・大浦湾海域の自然環境および生物多様性に大きな悪影響を及ぼす米軍普天間飛行場代替施設の建設計画を中止したうえで、住民参加のもと漁業その他の住民活動と共存できる「海域保護区」の設定と「保管理計画」を策定するべきである」（合同調査レポートより）と基地建設の中止と保護区作りを提言しています。

新基地建設に伴う埋め立てや作業ヤードの建設によって、これまで手つかずの状態が残っていたアオサンゴの群落が、汚水、赤土、潮流の変化などによって、影響が出ることは必至です。自然豊かな海、大浦湾を守りましょう！

三村昭彦

2008 京都全交参加報告

8月2-3日（1日が前夜祭）京都大谷会館で開催された、平和と民主主義をめざす全国交歓会（全交）第38回大会 in 京都に参加してきました。

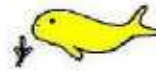
全交2008でブースを出しました。

京都で行われた全交2008で飲食のブースと写真や物販のブースは場所が違った為、二手に分かれてブースを出しました。写真は大浦湾のきれいな海のサンゴなどの写真を中心に展示しました。

開催初日は朝から気温がグングン上がりジュースやコーヒーがよく売れ忙しかったです。それとは反対に物販ブースでは人がまばらでしたが3日はスタッフの方の努力で改善が見られ人の流れが出来た為、写真を見てくれる人が出てきてよかったです。

また私たちの代表である海勢頭豊の9月に行われるコンサート（IUCNのプレコンサートとなります）の賛同金にもご協力をお願いし、快く賛同して下さった方々に感謝いたします。

全交では毎年この日しか会わない人や初めての新しい出会いがあります。知らなかったことや新しい発見・・・ブースを通してでしたか有意義な体験となりました。来年は東京での開催・・・またがんばらなくちゃ！という気持ちになりました。
・・・上田 千鶴



全交2日目の午後、さまざまなテーマで交流会が開かれ、SDCCも「ジュゴン訴訟と IUCN 勧告で辺野古新基地建設中止・ジュゴン保護区づくりを」のテーマで、集いを企画しました。関西では7月12日にもIUCNに向けての学習会をしましたが、それをもとに議論を深めようというものです。

全交2日目の交流会

会場は大谷会館の2階の和室。同時にたくさんの交流会が開かれているのですが、若い人の姿も目立ち、結構にぎやかな会になりました。まず、6月末の「じゅごんの里ツアー」の報告、そしてツアーにはじめて参加された二人の方からをいただきました。「ジュゴン保護区を作ることで、基地建設が止められ、自然が守られれば素晴らしいということをまわりに伝えたい」「やんばるの海と山両方の素晴らしさがわかりました」

続いて海勢頭代表から、10月のパレセロナに向けて、9月に沖縄でコンサートの案内と、辺野古にある社（やしろ）は、ジュゴンとつながりがあることなどの話がありました。

それから、10月のパレセロナ世界自然保護会議の勧告案についてのお話と議論をしました。その中で今年1月に判決が出たジュゴン訴訟と、IUCN勧告案との関連性についての質問が出るなど、議論が盛り上がりました。

山根富貴子



♥ 和室での交流会。なごやかな雰囲気の中で、ジュゴン訴訟の勝利が、IUCNでどう生かされるのかなど、活発な意見交換がなされました。

♥ 辺野古浜の様子や、ヤンバルの森を壊す高江の米軍ヘリパッド計画についても、写真で紹介しました。

活動報告と8/23-24のジュゴンイラスト・パナー展の案内をしました。



首都圏から

全交国際連帯の夕べ

それは突然の新作発表でした。新作は9月のプレコンサートで御披露目ですかね？そろそろ完成するのかな？なんて話していた矢先！「次は IUCN のための新作、今日来る飛行機の中で出来たばかりです」って、「え〜!？」不安と期待でドキドキでしたが、なんとなんと素敵な曲♪即席と言っていたけどイメージは上がっていたに違いない。曲はスペインっぽくて、「サン(ジュゴンの別名)よ世界の空を、海を、命を、人の心を清めて守って下さいね」という歌詞のサビになると会場から自然に手拍子がおこり、盛り上がりました。スペイン・バルセロナの IUCN の会場でもこの歌が私達を後押ししてくれるはずですよ！皆さんも9月の海勢頭マブイぐみコンサートに生の歌声を聞きにきて下さい。

小平裕美



国際連帯の夕べ(コンサート)で歌う海勢頭代表

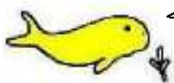
報告

☆ IUCN 学習会 in 首都圏 ☆

小平裕美

首都圏ではスタッフの知識向上を目的に IUCN 会議に提出した勧告案の中身について勉強会を行いました。今回の課題は聞き慣れない「ボン条約の覚え書きに参加するとは?」、前号ニュースで説明したボン条約のジュゴン保護勧告 7.5 (2002年) です。

前回の IUCN 会議の翌年の2005年!日本もジュゴンを守りなさいと採択されたのに何故にボン条約のジュゴン保護覚え書き論議に参加せず、その覚え書き自体を私達も知らないでいたんだ?という疑問。それは、政府は参加したくない覚え書きについては紹介しないし翻訳さえしないとの事・・・ヒドイ!! 日本の天然記念物とされているジュゴンがいる海に基地をつくるなんて考えられないと世論が言っても無視できるんだ・・・。それならば私達 SDCC が世の中に宣伝しなくてはなりません! みんなが問題を知り、無視できなくなる程に「間違っている」と沢山の所から声が上げられるように。基地はコワイ、戦争と直結します。過ちを繰り返してはいけません!! 終戦の日に改めて感じた思いです。基地をつくらうとした海に平和の使者ジュゴンがいた事は何かのメッセージなのではないでしょうか?



11月にIUCN報告会します!

11/15 (土) 東京 会場・時間未定

11/16 (日) 大阪 ドーンセンター視聴覚スタジオ (天満橋下車)

18時15分~21時30分 (開場18時)

ご参加お待ちしております



ジュゴンイラストとジュゴンの海の写真展

in 大阪・とよなか



大浦湾を愛する仲間
ダイビングチーム「すなっくすなフキン」の写真をたくさん展示します

- 日時 9月20日(土) 11時~19時
21日(日) 10時~16時
- 場所 とよなかすてっぷ
(阪急豊中駅前エトレ豊中6階 会議室)
- 参加費無料 コーヒー付き (無料)



地域でつながる「チバリヨ～なかの」

自分たちの住んでいる街で、平和のことで、環境の事、福祉の事を考えていこうよ！の呼びかけでスタートした「チバリヨ～なかの」も7月13日に5回目を迎えることができました。毎年ドキドキしながらお客さんの人数を気にしているのですが、今年は想定外の350名の方が参加されました。（チョ～嬉しかったっす）。12団体が力を合わせ自分たちのネットワークを使って参加型イベントに作り上げて行った結果のようです。

今年のテーマは「キッズチバリヨ～」21世紀を担う子ども達に体験を通して、平和、環境、福祉の大切さを学んでもらう企画でしたが、ジュゴン保護キャンペーンセンターもバナーへのメッセージを子ども達に書いてもらいました。子ども達に「沖縄のジュゴンがいなくなっちゃうかもしれないんだよ」と子ども目線で語りかけると、ぐっと表情が真剣になるのにこちらがハッとさせられる場面も多くありました。沖縄の基地やジュゴンの事、イラクの劣化ウラン被害、広島・長崎の被爆、身近なゴミ問題、福祉への理解・・・それぞれの団体が取り組む問題は違うけど、地球が何か大変な事になってきているのを子ども達は敏感に感じ取ってくれた様です。大人たちの責任は重いです。

村上祐子



★子どもたちのメッセージがたくさん集まりました



ジュゴンからのたすけてをうけとって

人魚姫のジュゴンファイト!



三重 「夏休み・親子で学ぼう!アストde サロン」報告

みえ市民活動ボランティアセンターの方からお話をいただき、8月16日に「ジュゴンと沖縄の海は今」というテーマでお話をさせていただきました。最初にジュゴン〇×クイズでウォーミングアップ。ホワイトボードに〇×を書き、正しいと思った方へ子供たちに移動してもらいました。予習をして来ている子供たちもいて全問正解者も現れびっくり!クイズで腕試しのあとはジュゴンと沖縄の海について、特にサンゴに焦点を当ててお話をしました。子どもたちは熱心に耳を傾けてくれ、一生懸命にメモを取り、また質問も積極的にしてくれました。最後は工作ということでジュゴン折り紙に挑戦。すぐに折り方をマスターし、20分ほどの時間の中で4頭折った女の子もいました。千頭ジュゴンを10月のIUCN会議に持って行きたいことをお話しすると、家で折って届けるとおっしゃって下さる親子さんも。

同時に募集しているジュゴン一言メッセージには参加者全員の方

方が書いて下さいました。今回パワーポイントを使ってのプレゼン資料作成、発表となにもかもが初めて尽くしだったのですが、苦手意識が強かったパソコンから少し脱却できたかなと感じています。今回出会った子どもたちの楽しかったという感想を励みに、また子どもたちとジュゴンや海について一緒に考えられたらいいなと思っています。

ジュゴンパラダイス☆三重 野田啓子



フェルトのリボンに書き込んだメッセージを付ける子どもたち

沖縄の食と生活⑭

パパヤー（パイヤ）



本土においては高級果物として店頭飾られているパイヤであるが、沖縄では古くから果物として利用されてきた。元々は中央アメリカ原産で、台湾から沖縄に19世紀ごろ伝わったと云われている。パイヤは雌雄異株で、幼木のときには区別がつかず、花がついて初めて雌雄の区別がつく。もちろん実をつけるのは雌だが、時折雄にも小さな実をつけるのが見られる。

沖縄の夏の暑さは植物にとっても過酷なもので葉物は育たず、夏野菜と言えど本土には見られないような亜熱帯や熱帯のものが多く、その主なものは瓜類であった。やはり肉厚で水分を保有する特性が自然条件にあっているのだろう。瓜の中でもゴーヤーは、今では温室などで年中栽培され、日本全国一年中見られる沖縄野菜の代表となっている。瓜類はつるが伸びて自然の緑のカーテンになるので、かつては夏の日除けも兼ねて、各家庭の庭先に栽培されていた。ゴーヤー以外にもナーベラー（へちま）、チブル（夕顔）なども同じである。

棚作りのゴーヤーやナーベラーに比べ、台風にも強く野菜の少ない折に重宝され、栽培も畑ではなく庭や家の周りに植えられていたのがパイヤである。栽培されたものは2、3キロの巨大な実をつけるが、今でも山裾や原野の野生も多く、宮古、八重山では、木果（モッカ）、マンジュマイとも呼ばれ、熟したものはもちろん果物としても美味である。完熟したパイヤは独特の風味があり、好き嫌いの多い果物の一つでもある。未熟果は野菜として利用し、細く千切りにして豚肉と炒め合わせ、パイヤイリチーとして食卓に定着している。細く千切り下ろしにしたものを「シリシリー」と表現するが、そのための千切り下ろしが各家庭にはそろっていて、最近是人参シリシリーと組み合わせて食することも多くなってきている。

パイヤに傷を付けると白い乳状の果汁がでてくるが、これは「パパイニン」というたんぱく質分解酵素である。昔は買物の折、肉とパイヤを同じ買物カゴに入れると肉が傷むと言われたぐらいであった。肉をやわらかくする効用を活かし、大きく切ってソテー（炒め煮）にするのも先人の考えた沖縄ならではの調理法である。

また、未熟果は地漬け（ジージキ）や味噌漬けとして保存されてきた。食事時に漬物を食べる習慣の無かった沖縄で、あめ色になったジージキを熱いサンピン茶とお茶漬けにしたのも、今では見ることもなくなった風物詩といっても過言ではない。パイヤは、その形状や乳汁の滲み出る様子から、「母乳の出が良くなる」産後の食べものとして、沖縄薬膳の民間伝承もある。

宮城都志子



猛暑の京都でアピール



7月19日（土）猛暑の京都に出かけてきました。

まず、5時から毎週河原町三条で行動している京都行動の皆さんと合流して、一緒に基地建設反対を訴えました。京都の沖縄県人会の方も参加されていました。「辺野古に基地つくらせない」ために協力して、がんばっているのがつたわって来ました。

SDCCは新しいパネルを用意して、大浦湾のアオサンゴやジュゴンの見える丘などの写真を貼りました。その横でCoccoの「ジュゴンの見える丘」などの曲をリコーダー演奏すると、「Coccoの曲が流れてるから・・・」と署名してくれた人たちもいました。署名をしてくれた人の中には辺野古のことを心配しておられる方もいます。沖縄県議会が新基地反対を決議したことを話すと、とても喜んでくれました。

6時過ぎに河原町四条の阪急百貨店前に移動し、全交IN京都の一日宣伝行動の皆さんと合流しました。短い時間でしたがモロッコから来た3人の方に署名してもらえました。外国の方が多いのは、京都ならではの。



♡リコーダーを吹いてアピール♡
河原町四条で

読書室

偽善エコロジー

～「環境生活」が地球を破壊する～ 武田邦彦著 幻冬舎新書 777円

最近、一般的に環境に良いとされていることが本当に環境にいいことなのかを疑問視する文献が出てきているなあと感じていたが、この本もタイトルからしてまさにその類だろうと思って読んでみることにした。

中身を進めていくと、案の定、現代の環境問題への取組みや考え方に対する反論が並べられている。今まで環境に良いと思ってやってきたことがことごとく否定され、ショックを受ける読者もいるのではないか。かくいう私も、マイバッグの使用やエアコンの温度設定など、日常生活で良かれと思って取り組んでいることがいくつか否定された読者のひとりだ。筆者の主張をどう受け取るかは人それぞれだが、個人的には今までの考えを見直すいい機会になったと思っている。

そんな中、この本の中でひとつ共感したことがある。それは、環境にいい生活というものには必ずしも「環境のために」という意識を持って行動することによって達成されるのではなく、心の満足を追求することによって自然と達成されるものであるということである。抽象的で分かりにくいかもしれないが、たとえば自分の健康のことを考えて歩くように心がけることで車等を使用する頻度が減り、結果的に環境にいい生活が達成されている、といったようなことだ。確かにその通りで、心が満足していれば、世の中に溢れかえっている物へ執着なんてなくなりそうである。

ただわたしには、現代の生活に慣れてしまった我々にとって、このような大幅な考え方の転換にはかなりの時間がかかるようにも思えるのだ。やはり一筋縄ではいかない環境問題の難しさを感じる。 小山絵美



海勢頭豊
マスイぐみコンサート



- ◆名護公演 9月17日(水) 午後7時～ 名護市民会館中ホール(市役所前)
- ◆那覇公演 9月19日(金) 午後7時～ てんぶす那覇
(那覇市伝統工芸館・牧志バス停前)
- ◆ボーカル・ギター海勢頭豊 ボーカル島田路沙 バイオリン海勢頭愛
- ◆チケット2000円

10月バルセロナに向けた海勢頭豊代表のコンサート♪
ジュゴンの新曲「サン」が発表されます。☆

★ eメールでのイベントのご案内をご希望の方は、info@sdcc.jp までお知らせください

☆ ボランティアスタッフ 募集 ☆

SDCC では常時ボランティアスタッフを募集しています。
ネットでのよびかけ、街頭での宣伝、グッズやイラスト作成、事務所での整理や発送作業など、お手伝いいただける方はぜひご連絡をお願いします！

Editor's Note

10月のバルセロナ会議がよいよ間近にせまり首都圏も関西も、イラスト・写真展や街頭などでアピールにつとめています。バルセロナでは、イラストバナーや海勢頭代表の新曲「サン」、ジュゴンの着ぐるみなどで、ジュゴン旋風を巻き起こし、世界中から集まった人たちの心をつかんで来ます！応援してくださいね。(Y)

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.40 2008年8月26日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

